

# 令和3年度 学校図書館活用実践報告

新潟市立小林小学校  
教諭 生原 芳美  
司書 三富 朋子

## 1 小林小学校 図書館教育のねらい

- ・ 図書館の利用指導や読書指導を通して、望ましい読書の習慣や図書利用の態度を身に付ける。

## 2 児童の実態

### (1) 読書センターとして

#### ① 昨年度の読書量について

- ・ 令和2年度の貸出冊数は、20,338冊（平均は127,1冊）だった。感染予防による休校の影響で貸出冊数は減ったものの、休校中の5冊貸出などをしたことで市平均は超えた。

#### ② 児童の読書傾向について

- ・ 本の貸出冊数は多く、毎日本の借り替えに来る児童もいる。週一回の図書の時間では、全学年が20分間程度は座って読書することができている。
- ・ 朝読書（週2回）と図書の時間は、マンガ、雑誌、図鑑以外の本を読むように指導している。
- ・ 『おしりたんてい』『のらねこぐんだん』シリーズなどが依然人気だが、昨年度あたりから『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』『54字の物語』『3分間ミステリー』『5分後の意外な結末』なども人気になってきた。しかし全体的には選書の幅が狭く、読みたい本のシリーズが借りられれば、目についた本を適当に借りていく児童が多い。貸出冊数が多いにもかかわらず読みの力につながっていないこととの関連も少なからず感じられる。

#### ③ 家庭での読書傾向について

- ・ 年に1回親子読書感想画の取組（詳しくは3(1)③参照）を10年以上継続している。しかし、図書館で借りた本を持ち帰る児童は少なく、家で読書の習慣がない可能性も考えられる。実態を把握するとともに、うちどく（家読）推進の新たな手立てを考えていく。

### (2) 学習センター、情報センターとして

- ・ 探求場面での情報の探し方や資料の活用の仕方が十分に育っていない。
- ・ タブレットが一人ずつ支給されたことに伴い、本を使って情報収集しようとする児童が減った。
- ・ インターネットからの限定的な不確定な情報と、紙媒体からの広くて信頼性の高い情報との価値の違いについて理解していない児童が多い。

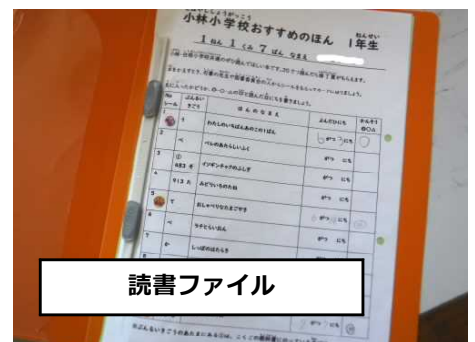
## 3 今年度の取組

### (1) 読書センターとして ～読書の幅を広げ、読書量を増やすために～

#### ① 白小・小林小共通のおすすめの本リスト（20冊）の作成 **白根第一中学校区・小中連携**

ア ねらい… 小学校時に共通の本を読んでおくことで、中学校へ進学した際の共通の話題の一つとする。

イ 環境整備… ・各学年ごとに、おすすめの本と教科書関連本を集めた書架配置をした。  
・全校児童に図書ファイル（A4版PPフラットファイル）を作成し、進級ごとにおすすめの本リストを綴じていく（卒業まで使用）。



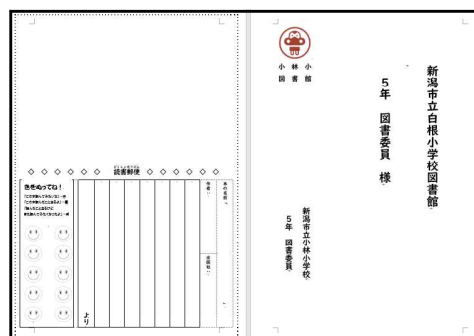
- ウ 方 法… ・おすすめの本を借りた児童がその本を返却する際に、シールを貼る。20冊完読した児童には修了証を渡している。また、月一回発行の図書館だよりや、図書館壁面の「読書の木」に、修了者の名前を掲示することで、取組の推進をしている。
- ・長期休業中の5冊貸し出しの際、児童はおすすめの本または教科書に載っている本を必ず2冊借りることとした。

## ②読書郵便 白根第一中学校区・小中連携

- ア ねらい…読んだ本や、その感想文を通して、会話以外でもコミュニケーションの場を広げていく。郵便が自分の手元に戻ってきた際の「色をぬってね」を見ることで、感想を読んでもらった実感をもち、読む意欲をさらに広げる。
- イ 方 法… I 各図書委員会（5，6年生）同士が、感想画・感想文（A4片面）を書く。
- II 小6図書委員⇔中学図書委員，小5図書委員⇔小5図書委員で郵便を出し合う。
- III それぞれの図書館に掲示し、全校が自由に読み合い、「色をぬってね」に色をぬる。※「自分もその本読んだことあるよ」…赤，  
※「その本を読んでみたいな」…青，  
※「読んだことあるけれど、また読んでみたくなかった」…紫
- IV 郵便を各学校へ返却する。

### ウ 取組の様子

- ・自分のおすすめの本が他校に貼り出されることを聞いた子どもたちは、「そんなことができるんだ」と驚いた表情を見せたが、意欲的に本を選び、丁寧に書き上げた。



- ・白根小学校や白根第一中学校から来た読書郵便をじっくりと読み、「おもしろそう」「この本、うちの図書館にもありますか」などとつぶやきながら色を付けていた。廊下に掲示すると、多くの子が足を止め、読む様子が見られた。
- ・子どもの反応が示す通り、同じ中学校区内での交流活動はあまり実践例がない。小中連携の活動の一つとして、継続していきたい。

## ③親子読書感想画の取組 《うちどく（家読）の推進①》

- ア ねらい…家庭での読書習慣を身に付けることとともに、親子で同じ本を読む楽しさを味わわせる（10年以上の継続実績がある）。
- イ 方 法… I 前期の読書週間に合わせて、全児童と保護者に感想画・感想文（A4片面）への取組協力を依頼した。
- II 個別懇談時期に合わせて、全児童の読書感想画を校内掲示した。



全校一斉に廊下掲示した「読書感想画」





### 【児童の様子から】

- ・貸し出しプラス券を出すことで読書意欲を高めるというねらいがあった。全体的には意欲が高まったが、高学年の児童間でプラス券のやりとりがあり、生活指導面でのトラブルがおきた（やりとりは禁止していたが徹底できていなかった）。



読み聞かせの様子

### ○図書委員の活動「読み聞かせ」

- ・期間中昼休みに、毎日、読み聞かせ当番が、絨毯がある「おはなしの部屋」で、紙芝居の読み聞かせを行った（読み聞かせ当番は、貸し出し当番とは異なる）。1年生から6年生までたくさんの児童が訪れた。

### 【秋の読書週間 11月22日～26日】

- 期間中は、5冊まで貸し出し可能。

### ○「ビンゴカード」の実施

- ・各学年おすすめの本20冊と教科書関連本で学年部ごとにビンゴカードを作成する。個人の意欲によって挑戦することができる。ビンゴが1列揃うごとに「貸し出し1冊プラス券」を渡す。3列揃ったら「しおり」もプレゼントする。

### ○先生方による「シャッフル読み聞かせ」の実施（11月24日昼の15分授業）

- ・事前に図書館部が用意した本の中から、先生方がそれぞれ自分が読む本を決める。
- ・読み聞かせされる本の題名と場所を児童に知らせる（誰が読むかは知らせない）。
- ・自分が聞きたい本を自由に選んで、その場所に行く。



### 【児童の様子から】

- ・どの教室でも、子どもたちは読み聞かせに集中していた。担任とは違う先生から読み聞かせしてもらうことで、本に対する意識が向上した。

※感染症拡大防止のため、例年行っている「ビブリオバトル」は中止、「カルタ・百人一首大会」はクラス内での実施とした。

## (2) 学習センター、情報センターとして ～図書館を活用した学習活動の拡大～

### ① しろね大風の資料のまとめ 白根第一中学校区（味方中学校区含む）・小中連携

#### ア 経緯

- ・南区、特に白根の特色として、しろね大風合戦はかせない存在である。当校でも3年生が総合の学習の一つとして調べ学習を行っているが、地域資料が少ないという実態があった。そこで、白根第一中学校区、味方中学校区の小中学校で所蔵している各学校にある資料（本、マップ等）を一覧としてまとめ、必要に応じて共有して活用していくこととした。

#### イ まとめ方

- ・各学校にある資料を「書名」「著者／発行者」「所蔵冊数」「出版年」「出版年」「請求記号」「表紙画像」の項目ごとにエクセルデータにまとめ、各学校ごとにタブで整理した。

「しろね大風合戦」資料所蔵一覧（白根第一中学校区 味方中学校区）R2年度作成

	書名	著者／発行者	所蔵冊数	出版年	請求記号	表紙画像
小林小学校	しろね大風合戦 平成18年版	白根風合戦協会	1	2006年	090し	
小林小学校	白根の風の全て 熱き戦い三〇〇年	白根風合戦協会（編著：田村和雄）	1	2006年	090し	
小林小学校	秘伝の大風作り 一心太助組の記録	若林茂敬 著／博進堂	1	2017年	090わ	
小林小	むかしからつたわる遊び【2】 たこを楽し	WILLこども知育研究所／				

エクセルデータにまとめた「しろね大風合戦」資料所蔵一覧

ウ 結果

- 小林小では、これまで9種類の資料が1冊ずつあったが、延べ32種、102冊の資料が活用できることになった。今年の3年生の調べ学習では、たくさんの資料を提供することができた。

② 学校図書館年間活用計画の作成

- 各学年ごとに、教科書の指導計画や実際に利用した実績をもとに、学校図書館活用計画を作成した。実施時期、教科、必要な図書資料など具体的に記載し、担任と司書は授業の準備に活用することができた（別紙参照）。

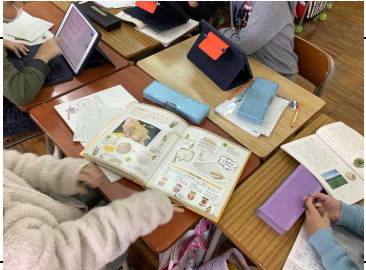



学校図書館活用年間計画

令和3年度 学校図書館活用年間計画		小林小学校 (3学年)	
月	教科・単元	身に付けたい知識・技能	関連図書
4	国語「図書館たんていだん」 「国語辞典を使おう」	・日本十進分類法について ・国語辞典の使い方	・オリエンテーション用資料 ・国語辞典
5	国語「こまを楽しむ」	・全体と中心、段落の関係	「すてきな日本の伝統」(教育画劇) 「ことば遊びチャレンジ20」(光村教育図書) 「昔の子どものくらし事典」(岩崎書店)
6	総合「風について(白根大風合戦)」	・引用の仕方	「秘伝の大風作り」(博進堂) 「白根の風の全て 熱き戦い、三百年」(白根風合戦協会)

③ 各学年の授業実践

- 活用計画をもとに、調べ学習を実践した。

学 年	教 科	「単元名」活用内容	活動の様子
1 学年	国 語	「じどう車ずかんをつくろう」 教科書本文の学習後、図鑑の中から自分が書きたい自動車を選び、「しごと」と「つくり」に分けて調べ、分かったことを文にまとめた。	
2 学年	生 活	「つくってあそぼう」 しかけおもちゃやおもちゃ工作の本を読み、自分が作りたいおもちゃについての思いをふく	

		らませて、計画作りに生かした。	
3 学年	国 語	「すがたをかえる大豆」 教科書本文の学習後、米や麦、牛乳、魚、とうもろこしがどのような工夫で、どんな姿に変わっているのかを図書の本を使い、調べ学習を行った。	
4 学年	①国 語	「世界にほこる和紙」 説明文を読んで要約する学習を行った。合わせて、伝統工芸に関する図書を並行読書し、児童が読んでためになった本を3段階評価した。	
	②社 会	「伝統工芸のよさを伝えよう」 インターネットを使ったり、学校図書館などを利用したりして、伝統工芸の魅力について調べたことをリーフレットにまとめて書くという学習を行った。	
5 学年	国 語	「やなせたかし～アンパンマンの勇気～」 教科書本文の学習後、自分で読みたい人物の伝記を選び、同様の枠組みを用いて、その人物像をまとめた。児童向けの伝記は司書教諭に依頼し、学習期間中は教室に常備させてもらった。児童は学習中はもちろん、休み時間にも手に取って読んでいる様子が見られた。	
6 学年	総 合	「生き方・キャリア」 キャリア教育の一環で、職業に就く人の本（資料）を活用した。 仕事のスケジュール、内容なども学ぶ一つではあるが、仕事のやりがい、苦勞、願いなど、仕事をしている人の想いを学ぶことに重点を置いている。この活動から、仕事内容だけに目を向けるのではなく、どのような気持ちで働いているのかという視点をもたせることができた。	

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ・昨年度から中学校区で図書館の活用について話し合い、「小中共通のおすすめの本のリスト（20冊）」「しろね大風の資料のまとめ」「読書郵便」など、新たな財産や取組ができた。こららを有効活用し、継続していけるようにしていきたい。

#### (2) 課題

- ・iPad導入に伴い、調べ学習での図書利用率が減ったことは否めない。確実に信頼できる情報源という強みを生かし、必要な情報を適したところから得るスキルを身に付けさせるためにも図書を使った情報収集の力を身に付けさせていきたい。